

各中学校長様
陸上競技部顧問様

平成28年3月

長野県中学校体育連盟
陸上競技部 専門委員長 酒井 剛

平成28年度全国中学校体育大会第43回全日本中学校陸上競技選手権大会 地元開催地枠について

陽春の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本年8月に本県にて標記の大会を開催いたします。全国より、延べ約2000人の選手が参加し、大会期間中には約12000人の人出が予想されます。皆様におかれましては、この地元長野全中に向け、チーム強化にあたっていることと存じ上げます。地元開催に向け、地元開催地枠について下記の通り、取り扱います。地元開催地枠の趣旨について御理解いただき、チーム長野として一丸となって選手強化にあたれますよう、よろしくお願い致します。

記

全中実施要項の参加資格に地元開催地枠について下記の記載があります。

開催都道府県については、推薦により各種目1名・1チームの参加を認める（但し、四種競技は除く）。なお、推薦による参加の場合は、一人1種目とする（リレーは除く）。競技者参加一覧表、個人申込書とも「推薦」と記入すること。

そこで地元開催地枠については以下の通りとします。

通信大会終了後、選手選考会議（開催地枠選手のみ）を開催する。会議終了後、選考結果を所属校の監督（顧問）に連絡をする。連絡は7月18日（月）の21時までに行う。

県総体（四種競技含む）、県中学混成大会（四種競技のみ）及び通信大会（以下『各指定大会』）において全国大会参加標準記録を突破した者は全国大会への参加が認められる（四種競技含む）。標準記録突破者以外で各種目上位の者1名（1チーム）を開催地枠で全国大会へ推薦する。詳細については以下の通りである。

- ・開催地枠の選考対象競技会は通信大会とする。
- ・各指定大会において、1種目でも標準記録を突破した者は、開催地枠の対象とはならない。
- ・全種目、決勝における上位者から選考する（1・2年生でもよい）。
- ・通信大会において、学年別に行われる種目については、全中大会では共通種目となるので、学年毎ではなく全学年の中から1名のみ選考する。

○トラック競技について

- ・同タイムの場合、1000分の1秒を見て、上位者を判断する。それでも判断できない場合、1つ

前のラウンドによって上位者を判断する。それでも同じ場合は3学年の上位者を優先する。

- ・男女共通4×100mRリレーについては、県総体優勝で県代表となっているチームを除いた通信大会最上位チームが開催地枠として推薦される。

○走高跳・棒高跳について

- ・標準記録を突破していない最上位の選手が同順位の場合、その競技の終了後、対象者で決定戦を行う。

※決定戦内で、標準記録を突破しても標準記録突破者としての出場はできない。

○走幅跳・砲丸投について

- ・標準記録を突破していない最上位の選手が同順位の場合、その競技の終了後、対象者で決定戦を行う。ただし、試技は3回とする。

※決定戦内で、標準記録を突破しても標準記録突破者としての出場はできない。

○開催地枠に推薦された選手（チーム）が辞退した場合は、再度選考会議で決定する。

○通信大会終了後、選手選考会議（開催地枠選手のみ）を開催する。会議終了後、選考結果を所属校の監督（顧問）に連絡をする。連絡は7月18日（月）の21時までに行う。